



## 幸せなとき

副校長 杉山 敏

音楽発表会と学友会選挙が終わり、来年度の新1年生の募集受付をし、来年度入試の準備等にとりかかっているこの時期には特有の雰囲気がある。附属長岡中学校を盛り上げてくれた「隼」は、「鳳」と1年生に何かを手渡し、それぞれの夢の実現に向けて努力を続ける。鳳と1年生はそれぞれの学年の持ち味を出し、附属長岡中学校を学年全体で盛り上げてくれるだろう。

隼はそろそろ3月3日「卒業証書授与式」を意識して、カウントダウンを始めた方がよいかもわからない。残りの授業日は後何日？その

日々を、毎日、大切に過ごしてほしい。鳳と1年生も修学旅行や研修旅行に向けてカウントダウンしてみたらどうだろう。何か忘れていたものに気づくかもしれない。

ある方のエピソード。「あなたにとって幸せなときっていつですか。」と聞かれ、「一番難しいことにチャレンジしているときかな。」と答えた。人は難しいことに押しつぶれそうになり、多くの方々に支えてもらって生きている。職員も日々ピンチの連続。このエピソードは心の支えとなっている。

難しいことを避けて通るのでなく、難しいことに遭遇したらそれに向かい合いチャレンジしてみればいいと感じることができれば人生観が変わるかもしれない。その中で、皆で力を合わせ踏ん張っていこう。みなさまにとって2017年も良い年でありますように。



学友会引き継ぎ総会の様子

## 素心会保健体育委員会主催ボーリング大会が行われました

10月29日（土）にポップボウル長岡で素心会保健体育委員会主催ボーリング大会が行われました。今年度初めての活動にもかかわらず当日は、約30名の方から参加をいただきました。ボーリングのテクニックを競い合うことはもちろん、日頃の運動不足を解消するとともに、互いに励まし合い交流を深める良い機会となりました。その後の懇親会でも、情報交換を行うなど懇親を深める場となりました。



素心会ボーリング大会の様子

# 平成29年度 学友会組織 決まる！

～第Ⅳ教育期のキーワードは「自覚・努力」、来年度に向けて最高の準備を！～

11月7日(月)から第Ⅳ教育期がスタートしました。キーワードは、「自覚・努力」です。進学・進級に向けて、それぞれの学年が置かれている立場を自覚し、目標に向かって努力する時期になりました。

さて、11月16日(水)には、平成29年度の学友会選挙が行われました。立会演説会では、14の役職に対して、2年生(鳳学年)からたくさんの生徒が積極的に立候補し、緊張感と熱気あふれる立会演説会となりました。

3年生は、これからの附属中学校の未来を後輩に託し、1年生は、2、3年生の姿から、先輩としての在り方を学んだことでしょう。



生徒会長に当選した磯田咲帆さんの演説



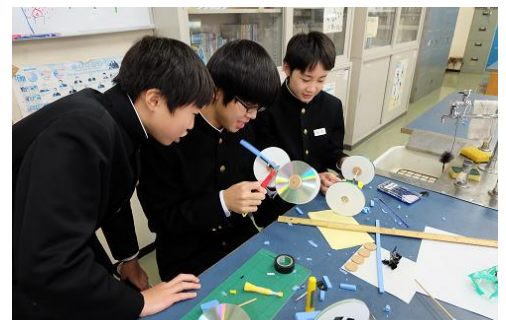
朝の選挙活動(ピロティニーにて)

そして、11月18日(金)には、決選投票を経て、大激戦の末、平成29年度の学友会を任う会長、副会長の三役と各専門委員長が決定しました。当選した人は、落選した人の分まで附属長岡中学校のために働こうと意識を高くしています。今回は、2学年(鳳学年)全体で、来年度の生徒会、これからの附属長岡中学校の在り方について考え、発信しました。他のフォロワーの意識や取組もすばらしいものがありました。鳳学年、附属長岡中学校としての自覚と覚悟を実感することができた学友会選挙でした。

## 科学の甲子園ジュニア全国大会並びに 創造ものづくり教育フェア関東甲信越地区大会に出場します

12月2日(金)～4日(日) B um B 東京スポーツ文化会館にて開催される、第4回科学の甲子園ジュニア全国大会に附属長岡中学校科学部に所属する相見皓成さん、吉原温和さん、山田哲空さんの3名が新潟県の代表として出場します。

理科、数学などにおける複数分野の競技にチームとして協働して取り組み、科学の楽しさ、科学を学ぶことの意義を感じるとともに、科学の思考力・技能を全力で発揮してきます。



科学の甲子園ジュニア準備活動の様子



創造アイデアロボットコンテストに向けた練習

12月3日(土)～4日(日) アイメッセ山梨にて開催される第17回創造ものづくり教育フェア関東甲信越大会(創造アイデアロボットコンテスト部門)に石田航さん、風間大希さん、菊池玖晃さん、谷口諒さん、細川智弘さんの5名が新潟県の代表として出場します。技術の授業で学習した知識や技能を生かし、ロボットの設計・製作し、工夫を続けてきました。当日はその成果を存分に発表してきます。